



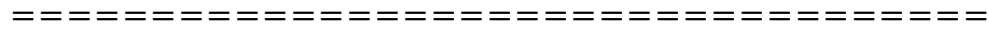
| 温カナ! news | 第1号 | 2024年4月15日 |

| 発行 | 神奈川県環境農政局脱炭素戦略本部室



メールマガジン「温カナ! news」は、脱炭素社会の実現に向けて、脱炭素につながる取組を広めていくことを目指して、かながわ地球温暖化防止活動支援コーナーが配信しています。

※令和6年3月まで配信した「エコ10だより」は、令和6年4月から名称を「温カナ! news」に変更しました。地球温暖化防止（脱炭素）に関する情報を広く発信します。



<ニュース>

◆環境省、ナッジ事業「カーボンフットプリントやコミットメント、ポイント等の効果に関する予備実証」の結果を公表

予備的な実証実験の結果、環境配慮行動の実施数について、カーボンフットプリントの見える化だけでは効果が見られなかったのに対し、実施数の目標を宣言させることやポイントを付与することにより、実施数が統計上有意に高まることが実証されました。

https://www.env.go.jp/press/press_02966.html

◆経産省、再生可能エネルギーのFIT制度・FIP制度における2024年度以降の買取価格等と2024年度の賦課金単価を設定

2024年度以降の買取価格等については、調達価格等算定委員会の「令和6年度以降の調達価格等に関する意見」を尊重し、設定します。2025年度10kW未満の住宅用太陽光発電の買取価格は15円になります。

<https://www.meti.go.jp/press/2023/03/20240319003/20240319003.html>

◆農水省、小学生・中学生向け「農業学習」コンテンツを公開!

農林水産省は、小学生・中学生の子どもたちを対象として、農業の歴史、農業遺産、農村の共同活動などの農村の大切な役割や魅力を学習することができる4つの教材を制作しました。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/240311.html>

◆（公財）鉄道総合技術研究所（鉄道総研）、超電導き電システム送電による世界初となる営業線運用検証を開始

鉄道総研では、伊豆箱根鉄道・駿豆線において、電気を無駄なく電車に送る「超電導送電システム」の技術検証を開始しました。営業線での運用検証における導入は世界で初めてとなります。

https://www.rtri.or.jp/press/d2sij1000000akg-att/20240313_001.pdf

◆気象庁、「気候変動監視レポート 2023」を公表

気象庁は今般、2023年の状況を取りまとめた「気候変動監視レポート 2023」を公表しました。同レポートは、2つのトピックス「2023年7月後半から8月にかけての顕著な高温」及び「2023年の日本近海の記録的な海面水温について」と2つの章「2023年の気候」「気候変動」で構成されています。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2403/22b/ccmr2023.html>

◆水のノーベル賞「ストックホルム水大賞」を東大沖教授が受賞

東京大学大学院工学系研究科の沖大幹教授が、水管理と気候変動における重要な変数である「総貯水量」に光を当てた点を評価され、「水のノーベル賞」とも呼ばれる「ストックホルム水大賞（Stockholm Water Prize）」の2024年の受賞者に選ばれました。

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/press/pr2024-03-25-001>

◆環境省、「気候変動適応計画における気候変動適応の進展把握中間報告書」をとりまとめ

環境省は、現計画の実施による気候変動適応の進展の状況を把握するための指標を設定し、5年ごとに適応策の効果を把握（中間年に中間報告書を作成）することで、中長期的な気候変動適応の進捗管理を行う予定です。

https://www.env.go.jp/press/press_02968.html

◆工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業の公募開始について

環境省は中長期の温室効果ガス削減目標の達成に貢献することを目的として、意欲的なCO2削減目標を盛り込んだ計画の策定支援を行う事業（CO2削減計画

策定支援)、CO2削減計画に基づく設備更新を行う事業(省CO2型設備更新支援)、脱炭素化に取り組む先進的なモデル事業(企業間連携先進モデル支援)に対して、補助金を交付する事業を開始します。

https://www.env.go.jp/press/press_03001.html

◆環境省、「建築物等のZEB化・省CO2化普及加速事業」の公募開始

環境省は、建築物等におけるZEB化・省CO2改修の普及拡大により脱炭素化を進めるため、建築物等において外部環境変化への適応強化、付加価値向上を進め、快適で健康な社会の実現を目指します。そのために必要となる経費の一部について支援します。

https://www.env.go.jp/press/press_03005.html

◆神奈川県EV・FCV認定カード(駐車場料金の割引)制度終了

神奈川県は、電気自動車(EV)や燃料電池自動車(FCV)を所有する県民等に対して、県立施設等の駐車場で駐車場料金の割引を受けられる「神奈川県EV・FCV認定カード」を交付してきましたが、令和7年3月31日をもって本制度を終了することとしました。

新規交付申請は、制度終了に先立ち、令和6年9月30日で受付を終了します。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f4259/submenu.html>

◆環境省、「くらしの10年ロードマップ」のアンケート調査結果を公表

環境省では、新しい国民運動「デコ活」を推進しており「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」に基づき、1,100を超える企業・自治体・団体等が参画する官民連携協議会(デコ活応援団)において、「くらしの10年ロードマップ」を策定しました。この進捗把握のため、消費者の取組実施状況に関するアンケート結果を公表しました。

https://www.env.go.jp/press/press_02954.html

◆横浜市、横浜みどりアップ計画[2024-2028]を策定

横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部に活用した「横浜みどりアップ計画」[2024-2028]に2024年度から重点的に取り組みます。

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori_up/midori2024.html

◆経産省、「給湯省エネ 2024 事業」及び「賃貸集合給湯省エネ 2024 事業」の
交付申請の受付開始

経済産業省は、家庭部門の省エネを強力に推進することを目的として「高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業」や、「既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業」を実施しており、これらの事業について交付申請の受付を開始しました。

<https://www.meti.go.jp/press/2023/03/20240326001/20240326001.html>

◆横浜市、令和 5 年度 脱炭素先行地域みなとみらい 21 地区 8 施設で省エネ・再エネ設備の整備を実施

これらの取組による年間 CO2 排出削減量は推計で約 230 トンです。引き続き 2030 年度までに「民生部門の電力消費に伴う CO2 排出の実質ゼロ」の達成に向けた取組を参画施設の皆様とともに実施していきます。

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2023/0328_mm21.files/20240328_mm21.pdf

◆セブン-イレブン、『手巻おにぎり』定番商品 5 アイテム鮮度延長へ

セブン-イレブン・ジャパンでは、品揃えの有無により発生する店舗での機会ロスと廃棄ロスの低減などを目指した対応として、2009 年の「チルド弁当」の長鮮度化以降、現在ではオリジナルフレッシュフードの約 85%が長鮮度商品となっています。今回、『手巻おにぎり』について、新たな設備などの導入により、現行よりも平均約 8 時間の消費期限の延長が実現しました。首都圏より順次導入し、今夏を目途に全国へ拡大します。

https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2024/202403271000.html

◆大林組、工場建設に大規模帯水層蓄熱空調システムを採用

大林組は愛三工業の（仮称）安城新工場の建設に大規模な帯水層蓄熱空調システムを採用しました。この帯水層蓄熱空調システムは地下 90mにある帯水層より年間を通して一定温度の水（15℃）をくみ上げて、熱交換機を通したあとで再び地下に戻すもので、夏は冷房、冬は暖房を行ない従来の空調システムに比べて約 52%のエネルギー削減を見込んでいます。

https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20240403_1.html

◆国交省、電気自動車のバッテリーを長持ちさせるための動画を公開

国土交通省は、電気自動車のバッテリーを長持ちさせる適切な充電方法や電欠を防ぐポイント等をまとめたYouTube動画を公開しました。このYouTube動画は下記URLページの下段にあるQRコードからご覧いただけます。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001734023.pdf>

<イベント>

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催者がイベントを中止にすることが考えられますので、イベント実施の有無については、各イベントのホームページまで随時御確認ください。

◆よこはま花と緑の春フェア 2024

日時：4月6日（土曜日）～4月30日（火曜日）

場所：山下公園、日本大通り

主催：よこはま花と緑の春フェア運営委員会

<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/midori/details/46thSpringfair2024.php>

◆ネットゼロ社会実現に向けた建築とまちづくり

日時：4月17日（水曜日）13時30分～17時10分

場所：建築会館ホール（東京都港区）

主催：ビューローベリタスジャパン（株）

<https://www.bureauveritas.jp/newsroom/240219>

◆農業と連携したカーボンニュートラルの実現にむけて

日時：4月19日（金曜日）13時～16時30分

場所：オンライン開催

主催：グリーンカーボンオフセットフォーラム

https://gco-forum2.peatix.com/?utm_medium=web&utm_source=results&utm_medium=%3A%3A%3A%3A3748059&utm_campaign=tag_ids_2988%2C2796

◆チョウ類のモニタリング調査の研修会

日時：4月20日（土曜日）10時～12時

場所：神奈川県立茅ヶ崎里山公園

主催：神奈川県立茅ヶ崎里山公園

<https://chigasakisatoyama-event.blogspot.com/2024/04/420.html>

◆夢見ヶ崎動物公園 令和6年度「飼育の日」イベント

日時：4月21日（日曜日）10時～15時（雨天中止）

場所：夢見ヶ崎動物公園（川崎市）

主催：川崎市

<https://www.city.kawasaki.jp/530/cmsfiles/contents/0000164/164593/R6shiiikunohi.pdf>

◆化石文明から、再エネ文明へ

～森林・バイオマスを生かした脱炭素まちづくり～

日時：4月22日（月曜日）15時～18時

場所：オンライン開催

主催 NPO 法人農都会議

https://peatix.com/event/3859422?utm_medium=web&utm_source=results&utm_medium=%3A%3A%3A3859422&utm_campaign=tag_ids_2988%2C2796

◆自治体の脱炭素計画づくりのポイント～各自治体の事例をもとに～

日時：4月25日（木曜日）13時30分～15時30分

場所：オンライン開催

主催：気候危機自治体議員の会

https://peatix.com/event/3877750?utm_medium=web&utm_source=results&utm_medium=%3A%3A%3A3877750&utm_campaign=tag_ids_2988%2C2796

◆樹木ガイドツアー

日時：4月27日（土曜日）10時30分～11時30分

場所：花菜ガーデン有料エリア

主催：神奈川県立花と緑のふれあいセンター

<https://kana-garden.com/event/%e6%a8%b9%e6%9c%a8%e3%82%ac%e3%82%a4%e3%83%89%e3%83%84%e3%82%a2%e3%83%bc-50/>
